



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第124号 2024年11月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

谷戸まつりの提供品にご期待ください!



稲刈り

久々に、谷戸米が生育途上で障害もなく実り、収穫が多いと食するまでの作業量が多くて大変だと、笑顔の悲鳴。長かった猛暑の疲れも忘れるほど。一方、季節がわからなくなるような生態系界の異変も目立ってきて心配でもあります。

お知らせ

第43回 秋の谷戸まつり

11/24(日) 10:00~13:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

販売 (新米・紙芝居・絵葉書・わら細工)

体験 (正月飾り作り・ノコギリ体験)

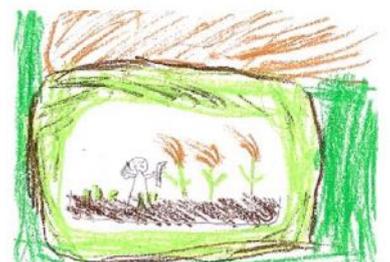
炊き出し (もち・谷戸鍋・おにぎり・ふかし芋)

お椀とお箸を
ご持参ください!



里山探検隊「稲刈り」

3p参照



自然だより

鎌倉は今年も台風が来ませんでした。全国的には能登の大雨、宮崎の台風など天災が多発しました。残暑が厳しく秋らしい日は少なかったです。夏日の翌日は10度以上も下がって肌寒くなったり、突然大雨が降ったり、不安定な気候でした。いつまでも秋らしくならないので、秋の花が咲くのが半月以上遅れ、ススキやオギの穂が10月になってやっと出てきました。

●急に減ってきた谷戸の生きもの

昨年から今年にかけて、一部の生きものが急に減りました。今の時点で感じていることを書きます。谷戸の植物はあまり変わらないのに、野鳥や昆虫が減少しているのはなぜでしょうか。ホタルなどあまり減少していない昆虫もありますが、以下の生きものは昨年から今年にかけて、おそらく5分の1以下に一気に減少してきた種類です。

シオヤトンボは、シオカラトンボによく似た、春に田んぼで見られるトンボです。山崎の谷戸にはシオカラトンボより多くいましたが、昨年あたりから減少が目立ちます。シオカラトンボはまだ多いのに、なぜシオヤトンボだけが減ったのでしょうか。アマガエルは、ホタルの観察会の時、田んぼでうるさいくらい鳴きますが、昨年あたりからあまり聞かなくなりました。ウマオイは、夏の夜



ハヤシノウマオイ

「スイッチョン」と鳴くキリギリスの一種で、鎌倉に住む人は知っている人が多いでしょう。昨年から急に減り始め、今年の鳴く虫観察会では一匹の鳴き声を聞いたただけでした。かつては5m間隔で鳴いていたくらい多かった虫です。同様に、

アシ原に住むヒメギスという黒いキリギリスもほとんど見なくなりました。湿地の環境はそのまま残っていてもそこに住む虫はいなくなっているのです。また、クルマバツタという畑の土手で見かけたバツタや、散策路沿いに多かったハエトリグモの仲間も見かけなくなりました。その他、10年以上前からですが、カタツムリが少なくなったのは



ヒメギス



クルマバツタ

みなが感じていることでしょう。まるで歯が一本ずつ抜け落ちていくように、生態系を支えていた生きものが姿を消しています。やがてこれが当たり前になり、豊かな里山は忘れられていくのでしょうか。だからこそ、今まで通りに谷戸の活動を続けていくことが大切になったと感じます。なぜなら、環境（植物）を従来通りに保全しても、生きものが消えていくことが証明され、環境問題を根底から考え直すきっかけになるからです。

各班のお知らせ

田んぼ班



いよいよ収穫の季節。頭を垂れた稲穂の様子からますますの収穫量を期待。脱穀後の計量で、不作だった昨年を大きく上回り一昨年の収量までの回復を確認。今年替えた「イセヒカリ」は、有機栽培に適しているようです。



10/21 さつまいも掘り

植物育成班



しいし周辺の湿地にしかなかったオミゾソバの広がりを心配しています。このまま増え続けるとミゾソバが減少してしまう可能性があるため、駆除するか考えていますが、その方法を検討中です。

自然遊び班



いもほり、たのしかった。(2年)ふるいでお米をわけました。あみあみのところで、お米とお米の葉を分けました。(3年)だっこは大変だったけどだっこ機で米がいねからはずれるときの音が気持ち良かったです。(5年)



10/18小麦の選別

雑木林管理班



昨年と同様、本年9月下旬まで続いた記録的猛暑により、雑木林の生長を左右する出来事が毎年発生しています。木々の状況を確認し、今期の除間伐計画を立て、作業を進めていきます。

畑班



今年も夏以降の高温少雨の影響でダイコンシンクイムシが大発生。青首大根、練馬たくわん大根は深刻な事態に。一方、さつまいも、たのくろ豆などは台風の被害や害虫の発生もなくよい出来だった。

生態系保全班



元気なアシ原を維持するには、放置してはいられません。適度にアシを刈りながら手を加えることが必要です。冬は手入れに適した時期です。カヤネズミも手入れをしたアシ原を好む傾向があり、巢の増減を調査します。



10/13 脱穀

農芸班



11月は味噌の原料となる「たのくろ豆の殻出し」を行います。夏の猛暑の影響で12月の「たくあん漬け」は中止となり、梅の木の手入れを行います。一粒でも多く梅の実を収穫できるよう願いながら堆肥を撒きます。

谷戸の生きもの

昆虫病原性糸状菌

手ぶらのサンタには訳が・・・



キイロスズメバチ (東谷)



ショウリョウバッタ

(野外生活体験広場)

菌に感染して死んだキイロスズメバチ。菌といえばキノコやカビが一般的だがスズメバチに寄生してサンタクロースの姿にしてしまう菌がいる。ハチだけでなくバッタ、カミキリ、クワガタなど多くの昆虫に寄生する。中でも

草につかまって絶命しているショウリョウバッタを見ることが多い。これは“エントモファガ・グリリ”というバッタにだけ寄生する菌の仕業だ。感染したバッタは草の先に登って死亡するという奇妙な行動をする。これはバッタが高く登ることによって孢子が遠くまで飛ぶためと言われている。谷戸から菌を持ち込んだのか我が家の物干しざおにも・・・パタゴニアのシャツに菌が着くので勘弁して！



ショウリョウバッタ

(愛用の物干し)

(たのくろまめお)

セグロアシナガバチ (オス)

おーい！みんなおいで！

秋晴れの日中、見通しのよい木で雄バチがコーリングしている姿を見ることがある。フェロモンを放出して新女王バチを呼び、交尾するためだ。マッチングアプリより男は黙って直球勝負😊。顔が白いのが雄バチの特徴。イケメン？・・・場所が良い？・・・運がいいだけ？・・・よく分からないが、次から次へと女王が来て交尾、コーリング&交尾、コーリングを繰り返し、いわゆるモテモテになることもあるらしい😊。しかし雄バチが生きられるのはここまで。交尾を終えたら冬が来る前(“秋の谷戸まつり”を見てくらいまでか)に死ななければならない。羨ましいような羨ましくないような・・・。(たのくろまめお)



野外生活体験広場(サクラ)



“E畑”脇(ネムノキ)

谷戸往来

鎌倉レンジャース 10/20(日)

種籾の脱穀を行いました。足踏み脱穀機、唐箕を使う手作業です。昔の人の知恵を感じながら手間のかかる作業を楽しみました。

鎌倉中央公園 フェスティバル 10/26(土)

脱穀したばかりの稲わらの提供、むしろ編みの紹介をしました。なつかしむ声が寄せられました。

青空自主保育保全活動 にこにこ会 10/20(日) なかよし会 10/27(日)

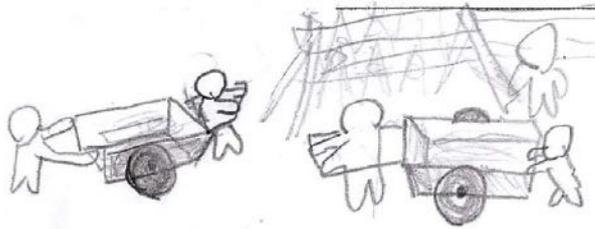
父と母が子どもたちのために谷戸を守ろうと、そして自分たちも谷戸を楽しもうと活動を続けています。疎林広場のさつまいもの収穫、小麦の種蒔きを行いました。稲刈り、脱穀にも参加して日ごろの活動でも活躍しています。



体験学習

深沢小5年 稲刈り 9/24

★けんがくだったけど、たいりょうないねをまとめる作業がとてもたいへんそうなので手伝いました。けどとってもむずかしかった。何回もやりなおしてできたのが3本(束)くらい・・・これをいつもやるのたいへんだなあ～。



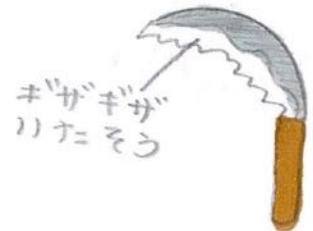
★いねがザクザク切れてく感じがきもちよかった。手前に引くと切れやすかった。かまがするどくて少しこわかった。

★さいしょかまを使うのがむずかしそうだったけど、使ってみるとけっこうすばんと切れて楽しかったです。

★昔のかまを調べてみたら石ぼうちょうでやっていた。

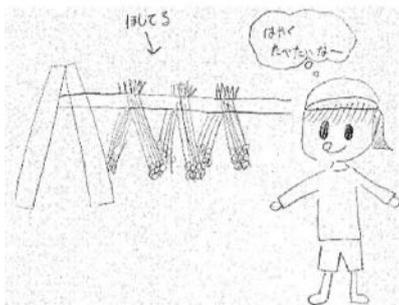
★いねを干す作業も楽しかったので、「休みの日も参加したいな。」と思いました。

★かまを使ってみると最初は何回もゴコゴコしないといけなかったが、何回もやるうちになれ、最後は一たちでできるようになって楽しかった。



富士塚小5年 稲刈り 10/4

★米をかったあとにすこいりょうのいねをはこびました。大変だったけどめずらしいたいけんができたのしかったのでよかったです。

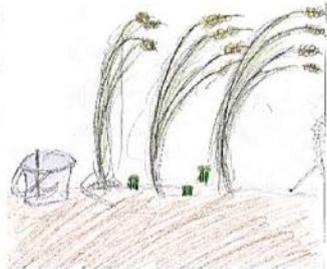


★おいしいお米ができるといいです。稲刈りの次はなにをするのか楽しみです。

★私が一番たのしかったことは、稲をはこぶことです。なぜかという、バケツリレーみたいだったからです。

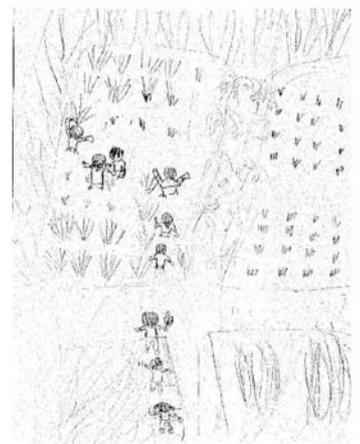
★つかれたけど自分たちでそだてたお米を食べれると思ったら、やる気ができました。

★服がドロドロになって、でも刈るのは楽しかったです。米ができると思うとわくわくします。



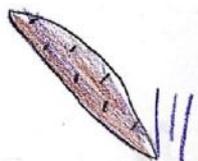
★初めはいねをかるのが時間がかかったけど、四週目くらいにはすぐかれるようになったので楽しかったです。

★お米もすこくそだっていてびっくりしました。いねをかるのもむずかしかったけど楽しかったです。次のだっこも楽しみです。



教育支援教室ひだまり さつまいもの収穫 10/16

★あいもほりはまずほるのにじゃまなつるを切って、シャベルでおいもをみえるようにして、きずつけないようにすででしんちょうにほりあてました。



★今回とったいもをしょうかく祭の時、食べるのが楽しみです。一番気になったのは、サツマイモに肥料を「やらない」方がいいと聞いて大爆笑しました。

★すでにまるいてある稲をリアカーにつんだり、さつまいもをほったりしました。お弁当をたべ終わったあと、人生ではじめてへびにさわりました。種類はアオダイショウで怒ると青臭いにおいを出すらしいです。



11月

- 3日(日) 田 粳すり、精米、わら切り ☆
雑 竹の伐採 ♣
- 4日(月・祝) かまくら子育て支援グループ懇談会主催
「さといもどろんこ」
- 6日(水) 畑 絹さやの種蒔き ♣
生 晩秋のチョウと鳥観察
- 9日(土) 田 粳すり、精米
- 10日(日) 田 粳すり、精米、わら切り、米の袋詰め
雑 竹の伐採
自 こども里山一日体験「さといも掘り」 ▶
- 11日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
- 13日(水) 畑 落花生の収穫
植 晩秋の植物観察 ♣
- 15日(金) 農 たのくろ豆の殻出し・選別 ♣
- 17日(日) 田 粳すり、精米、溝切り、米の袋詰め ♣
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
- 18日(月) 畑 さつまいもの洞入れ ☆
- 23日(土) 田 谷戸まつり前日準備、米の袋詰め
- 24日(日) 秋の谷戸まつり
畑 にんじんの収穫

12月

- 1日(日) 田 落ち葉かき、畔直し ☆
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 2日(月) 畑 畑の整備 ♣
- 4日(水) 生 獣のフィールドサイン ♣
- 8日(日) 畑 土壌改善 ♣
雑 雑木林の除間伐 ☆
自 里山探検隊「やきいも、谷戸あるき」
- 11日(水) 生 冬の鳥観察
- 15日(日) 田 粳殻くん炭、むしろ編み ♣
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 16日(月) 畑 落ち葉かき ☆
- 18日(水) 農 梅の木の手入れ(堆肥すき込み) ♣
- 22日(日) 田 粳殻くん炭
雑 雑木林の除間伐
講座「正月飾りづくり」 ☆
会員親睦会

- | | |
|----------|----------|
| ☆ 谷戸塾 | ♣ 里山一日体験 |
| 田 田んぼ班 | 畑 畑班 |
| 雑 雑木林管理班 | 農 農芸班 |
| 自 自然遊び班 | 生 生態系保全班 |
| 植 植物育成班 | |



次号(会報125号):2025年1月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

1月

- 5日(日) 田 堆肥切り返し、むしろ編み ☆
雑 雑木林の調査・測定 ♣ ☆
- 12日(日) 田 粳殻くん炭、堆肥撒き、むしろ編み ♣
雑 雑木林の除間伐
- 13日(月・祝) どんど焼き
- 15日(水) 畑 畑の整備
植 土手の草刈り作業
- 19日(日) 田 粳殻くん炭、むしろ編み
雑 間伐材整理 ♣
自 父と子の里山体験 ▶
講座「雑木林の管理」 ☆
- 20日(月) 畑 荒起こし ☆
- 22日(水) 生 カエル産卵場所整備
- 26日(日) 田 粳殻くん炭、苗床耕し
雑 雑木林の除間伐
青空自主保育なかよし会保全活動
- 27日(月) 畑 じゃがいも予定地の耕し ♣

<集合時間・集合場所>

- ・各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時~)
- ・▶ 会員以外の方 参加費500円/組

<お問い合わせ>

住所:
〒247-0066
鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:
0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



QRコード
からHPに
アクセス!